



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社レントラックス  
 コード番号 6045 URL <http://rentracks.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 金子 英司

(氏名) 梶尾 幸介

TEL 03-3878-4159

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,966	—	237	—	225	—	139	—
27年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 138百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	18.79	17.83
27年3月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 平成27年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第2四半期の数値及び平成28年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 当社株式は平成27年4月24日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しております。潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定においては、新規上場日から第2四半期連結累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。  
 3. 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。当四半期連結累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,829	1,178	64.4
27年3月期	1,210	355	29.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,178百万円 27年3月期 355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,626	55.2	424	51.7	408	51.5	262	46.8	34.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	7,717,200 株	27年3月期	6,150,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	105 株	27年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	7,409,177 株	27年3月期2Q	— 株

(注)当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日)におけるわが国の経済は、企業収益の改善を反映して設備投資が増加するとともに、個人消費においても回復の傾向がみられ、景気は緩やかな回復基調が続いております。

このような経済状況のもと、2014年の日本の総広告費は6兆1,522億円(前年比102.9%)、その中でも当社グループが属するインターネット広告市場においては、インターネット広告媒体費が8,245億円(前年比114.5%)と堅調に成長を続けております。

当社グループでは、主力の成果報酬型広告サービス事業において、金融案件及び自動車買取案件の広告主への注力に加え、その他の新規分野の広告主に対しても営業を強化し、また広告掲載媒体(パートナーサイト)運営者との更なる連携強化等に努めてまいりました。その結果、成果報酬獲得件数が順調に増加し、また検索連動型広告代行事業においても広告主の獲得件数を増やし、売上高の増加に寄与しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,966,748千円、営業利益237,021千円、経常利益225,002千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は139,254千円となりました。

セグメント別の売上高は、成果報酬型広告サービス事業が2,751,576千円、検索連動型広告代行事業が177,073千円、その他の事業が38,098千円となっております。また、セグメント利益は、成果報酬型広告サービス事業が391,613千円、検索連動型広告代行事業が32,385千円、その他の事業が33,300千円となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,829,220千円となり、前連結会計年度末と比較して618,832千円の増加となりました。これは、現金及び預金が482,615千円、売掛金が92,496千円及び前払費用が51,993千円増加したことが主な要因であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は650,361千円となり、前連結会計年度末と比較して204,028千円の減少となりました。これは、買掛金が198,799千円減少したことが主な要因であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,178,858千円となり、前連結会計年度末と比較して822,860千円の増加となりました。これは、資本金が342,013千円、資本剰余金が342,013千円及び利益剰余金が139,254千円増加したことが主な要因であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比べ482,811千円増加し、1,047,158千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動に使用した資金は179,011千円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益(225,002千円)を計上した一方、売上債権の増加(92,496千円)、前払費用の増加(52,343千円)、仕入債務の減少(198,799千円)、法人税等の支払(78,652千円)があったためであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動によるキャッシュ・フローはありません。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は661,974千円となりました。これは主に株式の発行による収入(684,026千円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間につきまして、平成27年11月6日に第2四半期累計期間及び通期業績予想を修正しております。詳しくは平成27年11月6日公表の「平成28年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	568,920	1,051,536
売掛金	542,080	634,576
前払費用	74,647	126,641
その他	17,867	10,134
貸倒引当金	△2,154	△1,896
流動資産合計	1,201,361	1,820,992
固定資産		
有形固定資産	518	460
無形固定資産	2,149	2,236
投資その他の資産		
その他	27,619	26,490
貸倒引当金	△21,259	△20,959
投資その他の資産合計	6,359	5,530
固定資産合計	9,026	8,227
資産合計	1,210,388	1,829,220
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	669,567	470,767
1年内返済予定の長期借入金	6,680	3,350
未払法人税等	78,652	88,536
賞与引当金	5,448	6,648
その他	94,042	81,059
流動負債合計	854,390	650,361
負債合計	854,390	650,361
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	94,000	436,013
資本剰余金	—	342,013
利益剰余金	260,052	399,307
自己株式	—	△126
株主資本合計	354,052	1,177,207
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,945	1,651
その他の包括利益累計額合計	1,945	1,651
純資産合計	355,997	1,178,858
負債純資産合計	1,210,388	1,829,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,966,748
売上原価	2,509,448
売上総利益	457,299
販売費及び一般管理費	220,277
営業利益	237,021
営業外収益	
受取利息	216
その他	8
営業外収益合計	224
営業外費用	
支払利息	58
為替差損	321
株式公開費用	11,864
営業外費用合計	12,244
経常利益	225,002
税金等調整前四半期純利益	225,002
法人税等	85,747
四半期純利益	139,254
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,254

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	139,254
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△293
その他の包括利益合計	△293
四半期包括利益	138,960
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	138,960

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	225,002
減価償却費	1,096
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△558
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,200
受取利息	△216
支払利息	58
株式公開費用	11,864
売上債権の増減額 (△は増加)	△92,496
前払費用の増減額 (△は増加)	△52,343
仕入債務の増減額 (△は減少)	△198,799
その他	4,669
小計	△100,523
利息の受取額	216
利息の支払額	△52
法人税等の支払額	△78,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	△179,011
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
投資活動によるキャッシュ・フロー	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△3,330
株式の発行による収入	684,026
自己株式の取得による支出	△126
株式公開費用の支出	△18,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	661,974
現金及び現金同等物に係る換算差額	△151
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	482,811
現金及び現金同等物の期首残高	564,347
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,047,158

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年4月23日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行369,000株により資本金及び資本準備金がそれぞれ297,045千円、平成27年5月29日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式発行55,000株により資本金及び資本準備金がそれぞれ44,275千円増加しております。

また、当第2四半期連結累計期間においてストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ693千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が436,013千円、資本準備金が342,013千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,751,576	177,073	2,928,650	38,098	2,966,748
計	2,751,576	177,073	2,928,650	38,098	2,966,748
セグメント利益	391,613	32,385	423,999	33,300	457,299

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。